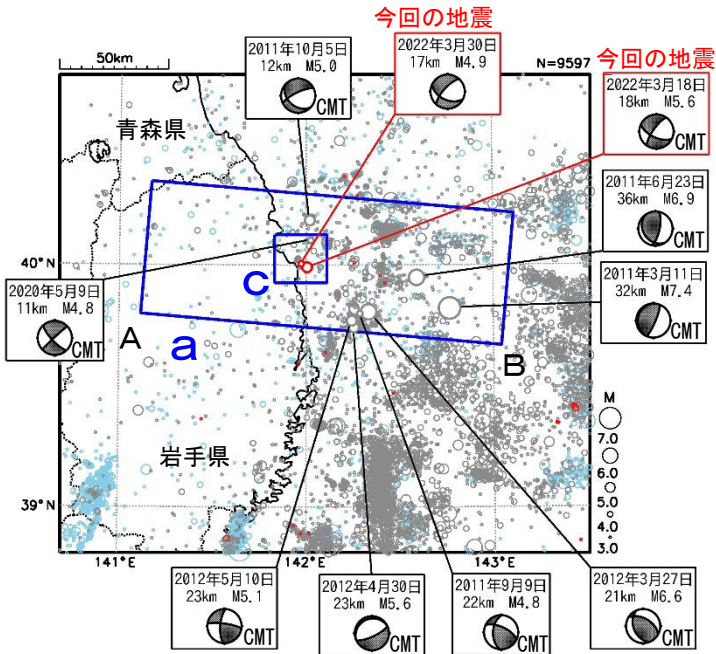


3月18日、30日 岩手県沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日~2022年3月31日、
 深さ0~120km、 $M \geq 3.0$)
 2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
 2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
 2022年3月に発生した地震を赤色で表示

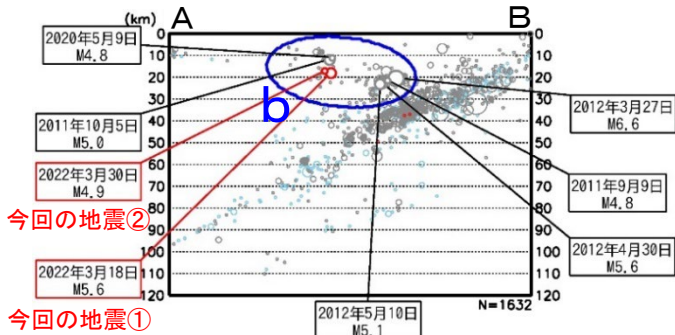


2022年3月18日23時25分に岩手県沖の深さ18kmでM5.6の地震(最大震度5強、今回の地震①)が発生した。また、30日00時18分にはほぼ同じ場所の深さ17kmでM4.9の地震(最大震度4、今回の地震②)が発生した。これらの地震は陸のプレートの地殻内で発生した。今回の地震①の発震機構(CMT解)は北北西-南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、今回の地震②の発震機構は北北西-南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震①により住家一部破損1棟などの被害が生じた(3月28日17時00分現在、総務省消防庁による)。

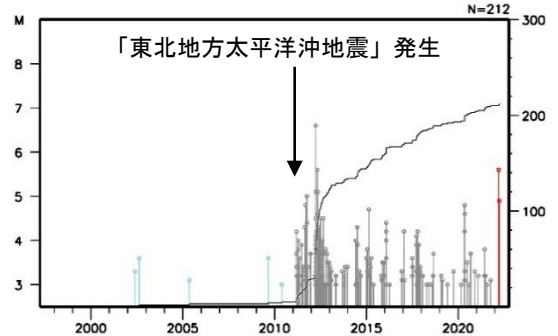
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生前はM4.0以上の地震は発生していなかった。「東北地方太平洋沖地震」発生以降は地震発生数が増加し、M4.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生しており、1995年1月7日には「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」の最大余震であるM7.2の地震(最大震度5)が発生した。

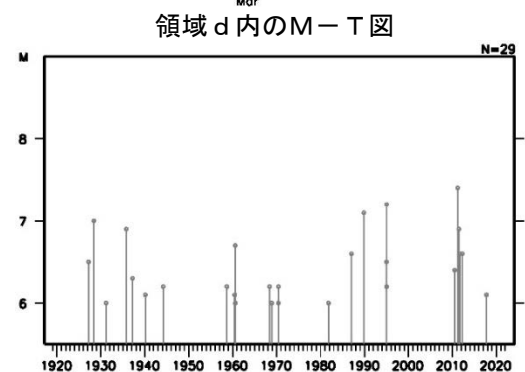
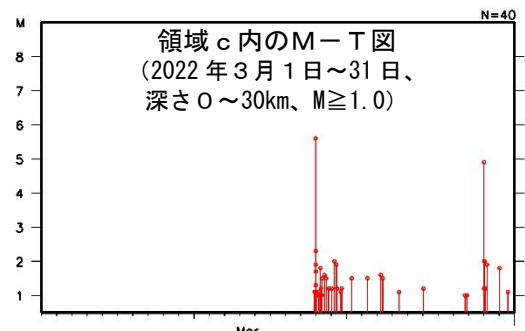
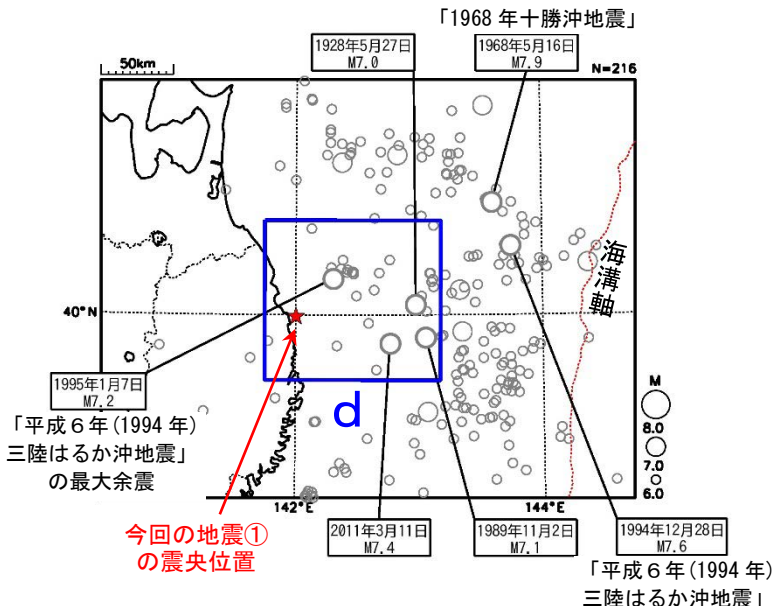
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1919年1月1日~2022年3月31日、
 深さ0~150km、 $M \geq 6.0$)



気象庁作成